

95 ^{67}Ga , ^{201}Tl の腫瘍集積性の差違に関する
基礎的臨床的研究

東北大 抗研 放
○佐藤多智雄, 奥山信一, 矢戸文男,
武田俊平, 福田 寛, 浜島幸子,
松沢大樹
東北大 ラジオアイソトープセンター
世良 耕一郎

動物実験では Ga , Tl 金属を同時投与し, 陽子特性 X線法で, 分析すると, 腫瘍の組織型により摂取率に違いがみられた。 Ga は未分化型, Tl は分化型により多く集積した。 Ga と Tl では腫瘍への集積機構に違いがあると考えられ, これを明らかにする。

臨床においては, ^{67}Ga , ^{201}Tl の集積と停滞の状況を外部計測法により解析し, 興味ある所見が得られたので報告する。

96 顎顔面の悪性腫瘍診断時に現れる腫瘍以外のシンチグラム陽性像の解析

日歯大 放 ○金子昌幸, 小林光道
秋山明弘, 古本啓一

歯学領域の腫瘍の診断時に, 悪性か否かの鑑別, 腫瘍の範囲あるいは位置の決定に R I シンチグラフィーが用いられることはほぼルーチン化している。悪性か否かの鑑別としては ^{67}Ga -citrate が, また, 腫瘍が骨に影響をおよぼしているか否かの決定は $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -pyrophosphate などが使用されている。

診断に際しては, 顎顔面は解剖学的に複雑であるため, シンチグラムでも多様性を示し, 読影時に細かな注意を払うことが要求される。特に, 唾液腺炎, 上顎洞炎あるいは歯周炎などが併発している時には, その部位にも陽性像が認められることがあり, 腫瘍との関係, あるいは鑑別に留意しなければならない。

また, 核種によっては顎椎あるいは鼻腔などの正常部にも取り込まれ, 強い陽性像を示すことが多々あり, 特に正面像でこの現象が強く, 腫瘍が鼻腔近く, あるいは口蓋部に発生した場合には, その鑑別が困難となることが多い。

今回われわれは悪性腫瘍の疑いで, ^{67}Ga -citrate, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -pyrophosphate シンチグラフィーを行った結果, 良性腫瘍であった症例, および腫瘍以外の正常部に ^{67}Ga -citrate, $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -pyrophosphate が取り込まれ, 強い陽性像を示した症例について, その原因を検索するとともに, 動物実験を行ったので報告する。